

胃癌肝転移巢の C5a 受容体発現に関する免疫・組織学的検討 (KSCC1302 附随研究)

・はじめに

胃癌肝転移の手術は、大腸癌肝転移に比較して患者数が少なく、予後が悪い傾向がある。そのため本研究の本体研究であるKSCC1302「胃癌肝限局性転移の外科治療に関する後ろ向きコホート研究」では、九州消化器癌化学療法研究会(KSCC)に参加している九州・沖縄一円の施設に該当症例の収集を依頼し現在、本体研究が進行中です。本研究は、附随研究で、胃癌肝転移の病態を明らかにし、新しい治療戦略につなげるための研究です。

・対象

九州大学病院消化器・総合外科と別府病院外科において2000年1月1日から2010年3月31日までに胃癌肝転移に対し外科治療を受けられた方の切除標本を対象に致します。

目標登録数：2例(KSCC1302本体研究に登録された症例のうち、組織の提供が得られた症例数)

対象者となることを希望されない方は、下記連絡先までご連絡下さい。

・研究内容

手術時に切除された病理組織が、九州大学から登録・データセンターであるCReS九州に搬送され、熊本大学消化器外科に転送されます。また、本体研究の下記データが登録・データセンターから熊本大学消化器外科へ提供されます。そして、熊本大学消化器外科が新たに得られた免疫組織化学染色の結果と下記データを解析します。

この研究を行うことで患者さんに日常診療以外の余分な負担が生じることはありません。

【登録・データセンターから熊本大学消化器外科へ提供される本体研究のデータ】

- ・症例基本情報：性別，生年月，PS，症例識別番号
- ・疾患情報：診断名，臨床病期，肝転移までの期間，病巣部位，腫瘍径，腫瘍個数，腫瘍病理学的診断結果，前治療歴
- ・治療経過：化学療法の有無，化学療法の種類，無増悪生存期間，全生存期間

・個人情報の管理について

個人情報漏洩を防ぐため、九州大学病院消化器・総合外科と別府病院外科と

形態機能病理学においては、個人を特定できる情報を削除し、データの数字化、データファイルの暗号化などの厳格な対策を取り、第三者が個人情報を読覧することができないようにしております。

また、本研究の実施過程及びその結果の公表（学会や論文等）の際には、患者さんを特定できる情報は一切含まれません。

・研究期間

研究を行う期間は承認日より 2014 年 7 月 31 日まで

・医学上の貢献

本研究により被験者となった患者さんが直接受けることができる利益はありませんが、将来研究成果は胃癌肝転移の解明及び新しい治療法の発見の一助になり、多くの患者さんの治療と健康に貢献できる可能性が高いと考えます。

・研究機関

研究責任者：九州大学大学院医学研究院 消化器・総合外科 教授 前原喜彦

研究分担者：九州大学大学院医学研究院 外科分子治療学 准教授 森田 勝

九州大学病院 消化管外科(2) 講師 沖 英次

九州大学病院 消化管外科(2) 兼任講師 佐伯 浩司

九州大学病院 消化管外科(2) 助教 伊藤 修平

九州大学大学院医学研究院 外科分子治療学講座 助教 日吉 幸晴

九州大学大学院医学研究院 がん分子病態学 助教 安藤 幸滋

九州大学大学院医学研究院 形態機能病理学分野 助教 平橋美奈子

九州大学別府病院 外科 教授 三森功士

九州大学別府病院 外科 講師（診療准教授） 杉町圭史

九州大学別府病院 外科 講師 江口英利

九州大学別府病院 外科 助教（診療講師） 主藤朝也

附随研究プロトコール代表者：熊本大学 消化器外科 教授 馬場 秀夫

附随研究プロトコール担当者：熊本大学 消化器外科 特任助教 新田 英利

KSCC研究事務局：九州大学大学院 消化器・総合外科 医師 江見泰徳

九州大学大学院 消化器・総合外科 講師 沖 英次

一般社団法人 九州臨床研究支援センター(CReS九州)

KSCC研究代表者 前原喜彦

登録・データセンター：一般社団法人 九州臨床研究支援センター(CReS九州)

KSCC研究代表者 前原喜彦

連絡先：九州大学病院消化器・総合外科 講師 沖 英次

電話：092-642-5479（平日 8:30～17:15）

092-642-5473（夜間・休日）